

活動報告

団体名	Project 九州
活動名	心理的危機状態の予防、および子どもの遊び場支援のための活動
活動期間	2016年9月～2017年9月
活動の成果	<p>「Project 九州」は臨床心理士を中心とした団体で、被災者の方がうつ、自死、アルコール依存、PTSD、孤立などの心理的危機状態に陥ることを防ぐことを目的として熊本地震後に設立されました。しかし関係性のない者が「お悩みはありませんか」と話しかけたところで、抵抗感を持たれる方が大半です。そのため、カフェ活動と並行して、参加しやすく生活への意欲を引き出すようなイベントとしてもの作り（作っても作らなくても良い）の活動も行いました。これによって、単なるカフェ活動では「話すことがないから」と言って寄り付かなかった方も、“もの作りを通して一緒に過ごす”ことができたようです。そのような関わりの中で、心理士としての視点を持ちながらお話を伺ったり、時には専門職として行政や施設関係者と連携をしてきました。また、特に住民同士、地域と住民を繋ぐということを大事にし、よりコミュニケーションが促進されるように関わりを続け、一定の成果があったように考えています。また、各支援団体の足並みをそろえて支援が行えるように、支援ネットワークを立ち上げ、団体間の連携強化にも努めています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>ご支援、誠にありがとうございます。</p> <p>「Project 九州」は皆様からいただいたご寄付によって活動を継続することができています。</p> <p>私たちはこれまで、心理士として何かできることはないだろうかと手探りの中で活動を続けてきました。発災直後のころは炊き出しや掃除、物資の整理、がれきの撤去など、一見すると”心のケア”とは関係ないようなことも行いました。しかし、災害時においてはそのように生活の中に入って関わっていくことも心のケアにおいて実は非常に重要なことであると現在では感じています。私たちはこれからも仮設住宅や地域で住民の方に寄り添いながら精一杯活動을続けてまいりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

